

(公社)石川県宅地建物取引業協会
「永く健康で仕事を続けるための健康研修会」
平成29年1月26日(木) 石川県不動産会館

『健康経営が問いかける意味を考える』 ～ 健康と経営の維持向上をめざして～

石川産業保健総合支援センター
労働衛生専門職 竹口 彰夫

昨今の厚生労働省の重要な課題

1. 企業のニーズ

- ① 健康な労働力の確保と生産性・業績の向上
- ② 企業の社会的責任(CSR)、企業のイメージ
- ③ 定年延長後の医療費増大対策
- ④ メンタルヘルス不調による休業やプレゼンティズムを予防する
- ⑤ 生活習慣病増加の抑制
- ⑥ 法令遵守

2. 個人のニーズ

- ① 職務満足感や労働意欲の向上
- ② 労災や健康リスクの低減
- ③ 医療費負担の軽減

3. 社会のニーズ

- ① 医療費抑制
- ② 定年延長の定着
- ③ 健康寿命の延伸
- ④ 持続可能な年金制度、健康保険制度

健康経営とは

- ・ 従業員を企業が成長するうえでの貴重な資産と捉えて、従業員の健康増進を人的な資本に対する投資と捉える考え方
- ・ 投資を戦略的に行うことで、プラスの収益を実現するという積極的な経営

健康づくり＝コスト



健康経営＝投資

引用：古井祐司著
(労働調査会2014)

「社員の健康が経営に効く」

中小企業にとって労働力の維持・確保はますます重要となる

健康経営

健康づくりが疎かになると…

生産活動の低下

事故・不祥事の発生

経営に重大な影響を
及ぼす恐れがある

社長・人事総務担当者が社員の健康づくりを積極的にサポート

健康状況(リスク)の把握

健康づくりの推進

社員が心身ともに元気に働ける企業に

生活習慣病の予防・改善

メンタルヘルス不調の予防・改善

企業にはこんなメリットが

生産性向上

モチベーションの向上
欠勤率の低下
業務効率の向上



負担軽減

疾病予防による疾病
手当の支払い減少
長期的には健康保険
料負担の抑制

イメージアップ

企業ブランド価値の
向上
対内的・対外的イメー
ジの向上

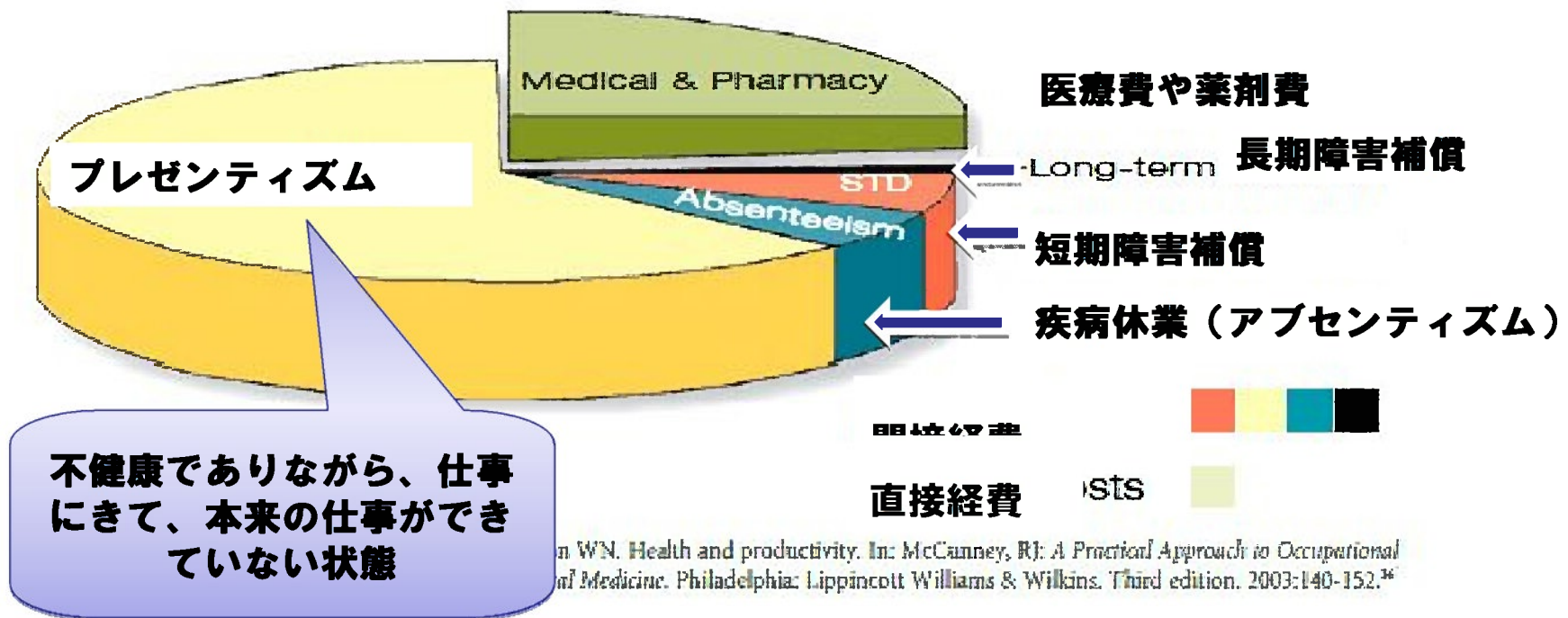
リスクマネジメント

事故・不祥事の予防
労災発生の予防

社員の健康づくりへの投資は、業績にも良い影響をもたらします！

例)東京商工会議所「健康経営のすすめ」

あまり体調が良くないのに仕事をすることの デメリット？



健康な職場形成（アメリカ商工会議所）

Labor, Immigration & Employee Benefits Division
U.S. Chamber of Commerce: Healthy Workforce 2010 and beyond

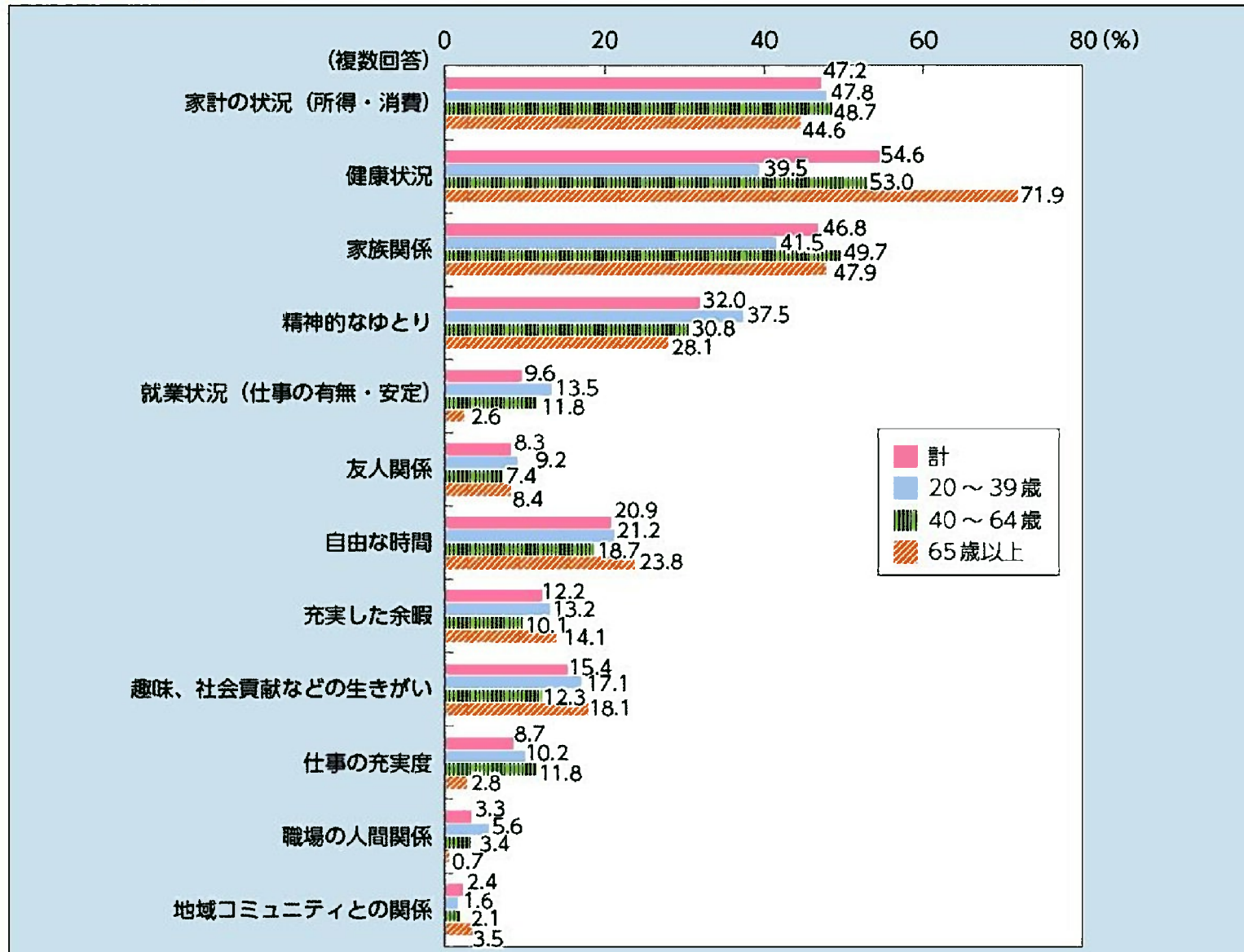
あなたの職場の健康上の課題に当てはまるものは無いですか

- 経営者・従業員の高齢化
- 健康診断の有所見率が高い
- 有病率が高い
- 健康的な生活習慣の人が少ない
- 高ストレスの人が多い
- 疾病休業発生率が高い
- 労働災害が発生している
-

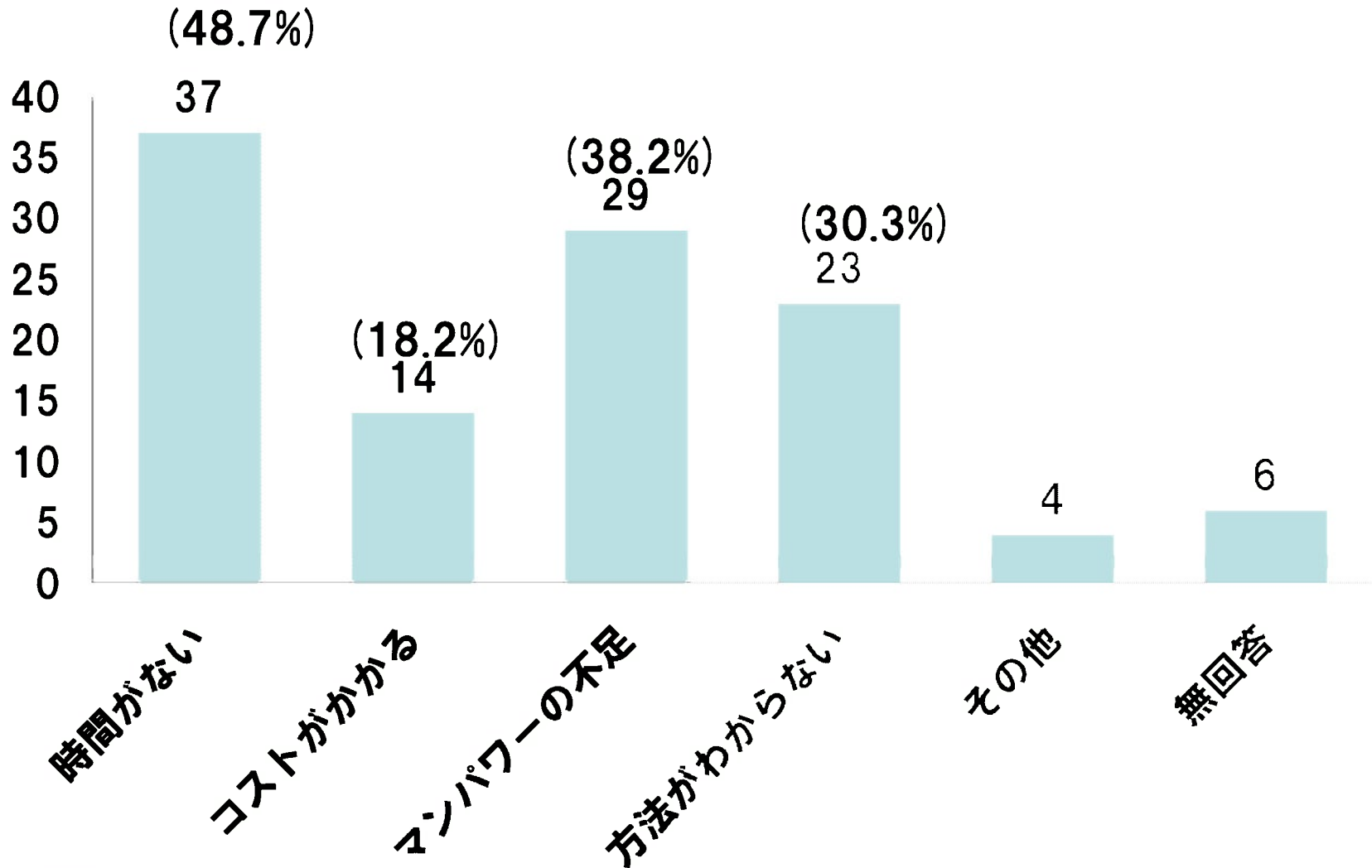


幸福の条件に健康をあげる人が多い

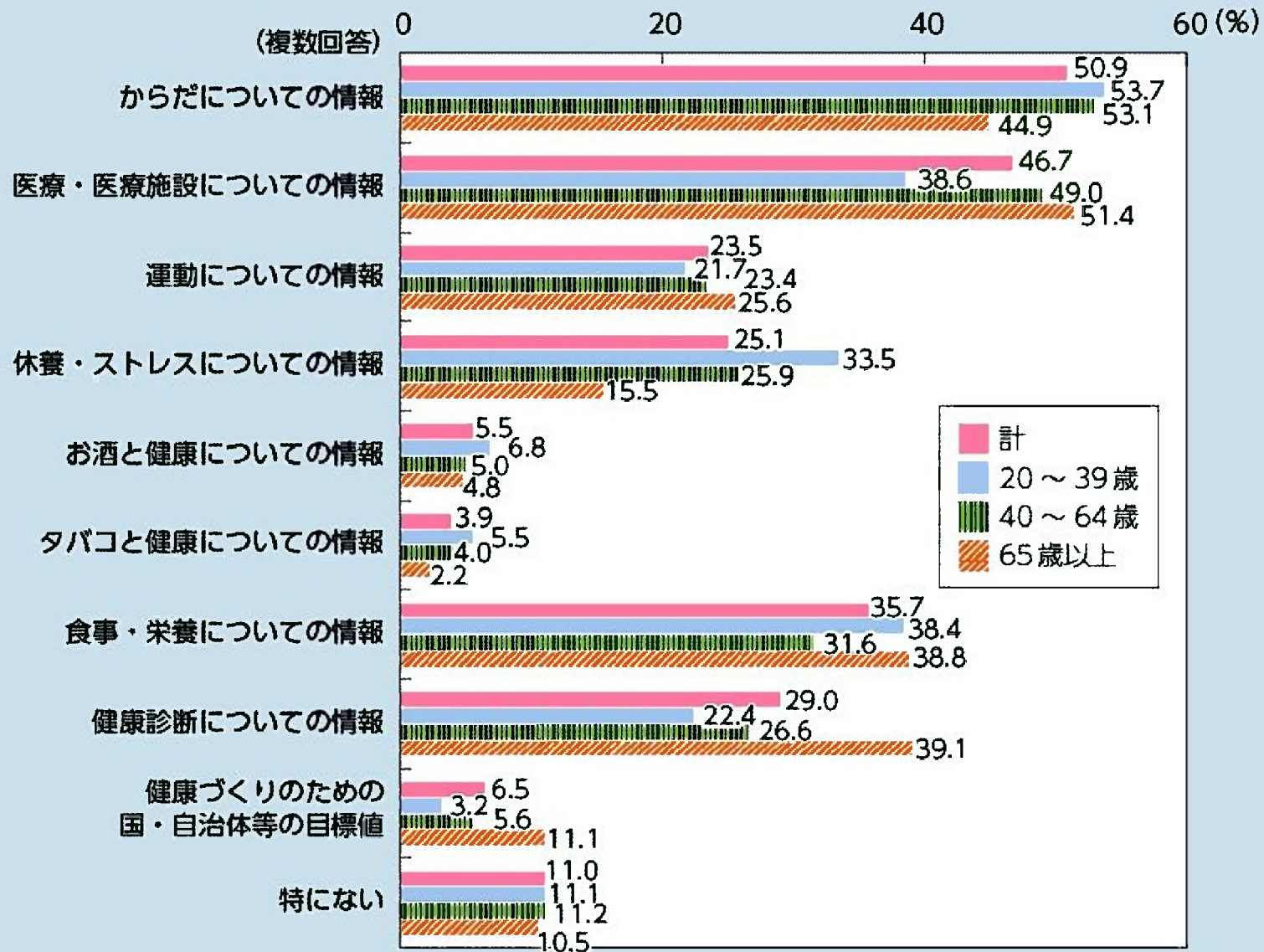
図表 2-1-13 幸福感を判断するのに重視した事項（世代別）



健康対策が必要と思うができない理由

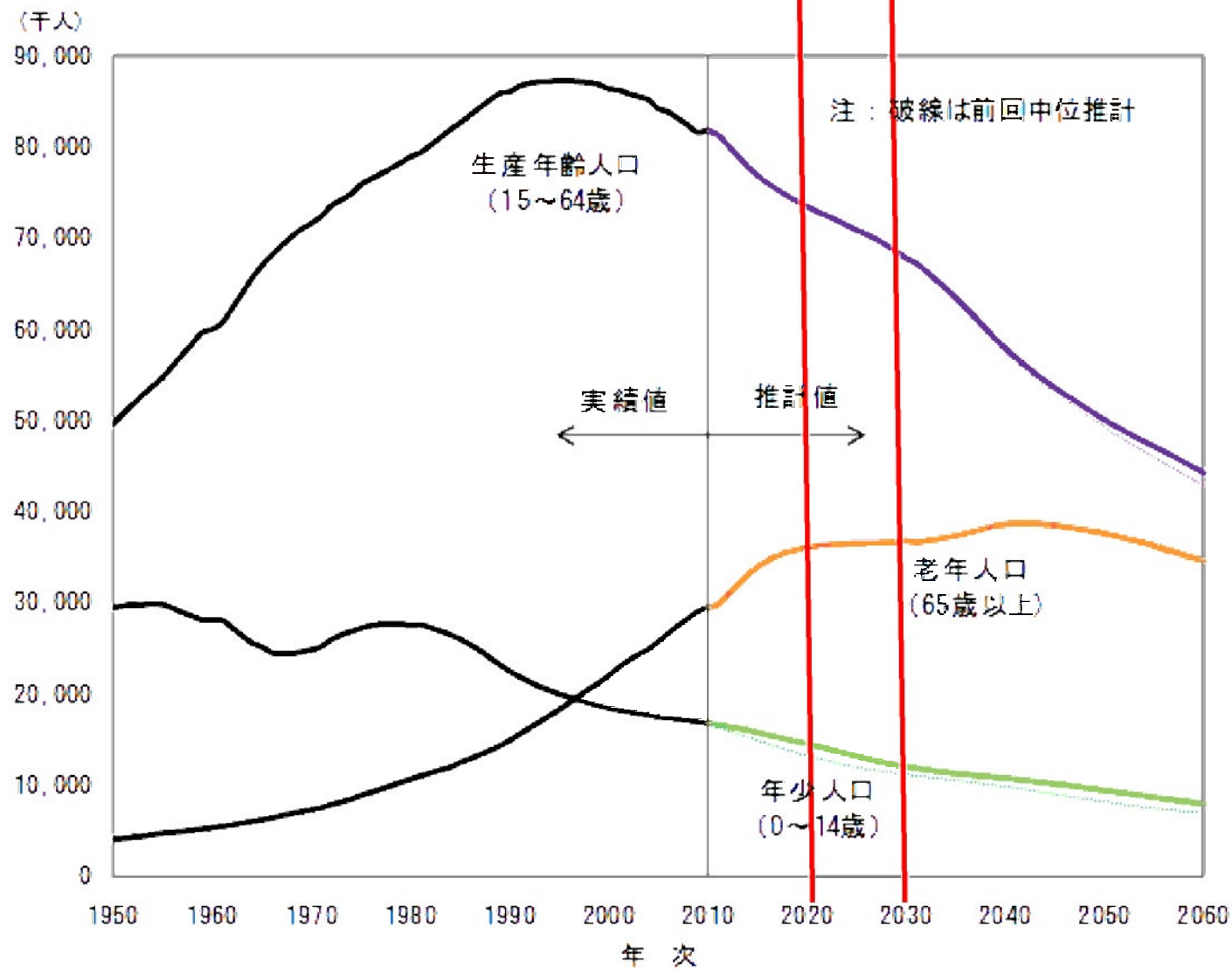


図表 2-1-17 健康に関してどのような情報が必要と考えるか



資料：厚生労働省政策統括官付政策評価官室委託「健康意識に関する調査」(2014年)

年齢3区分別人口の推移(中位推計)

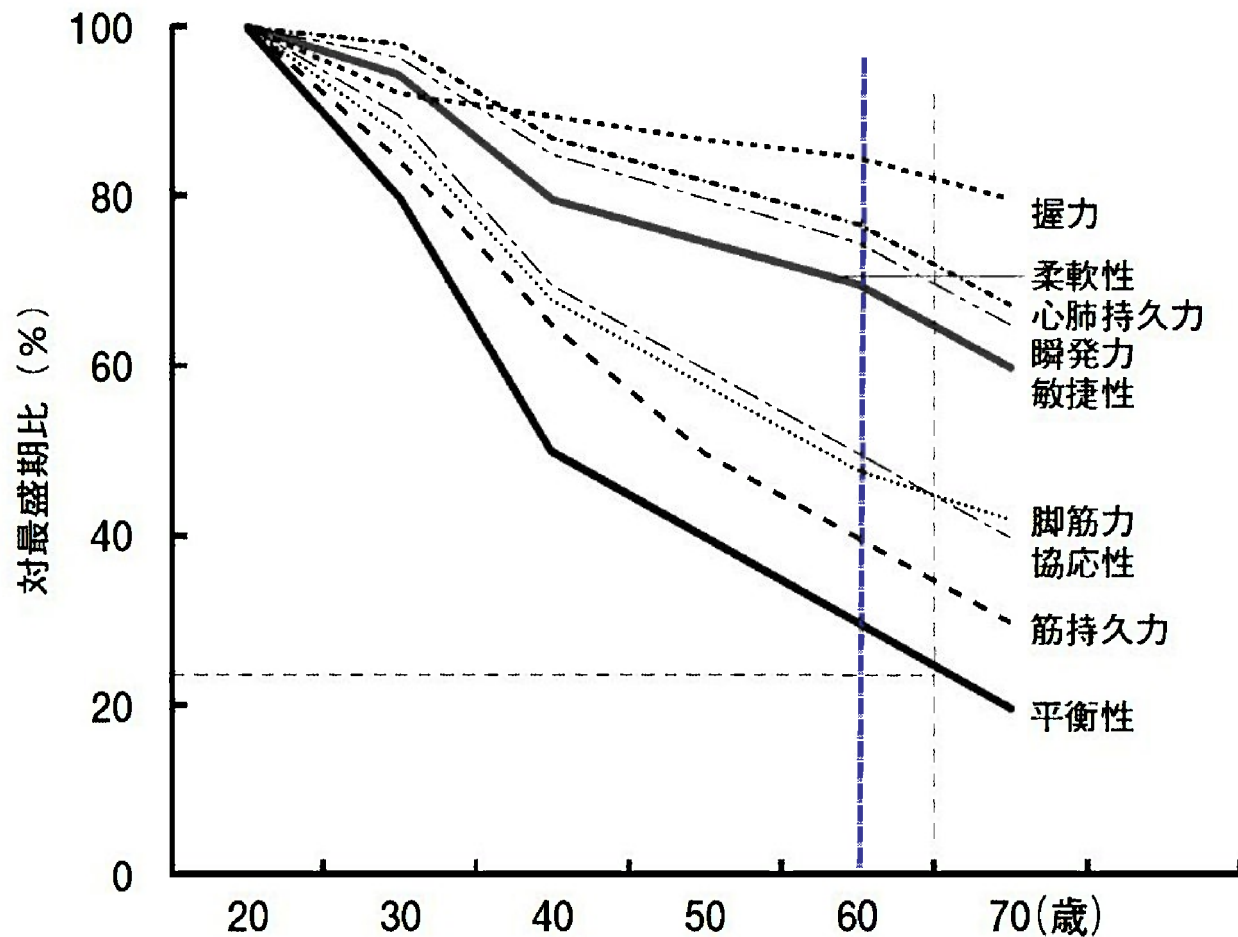


高齢者の安全衛生課題

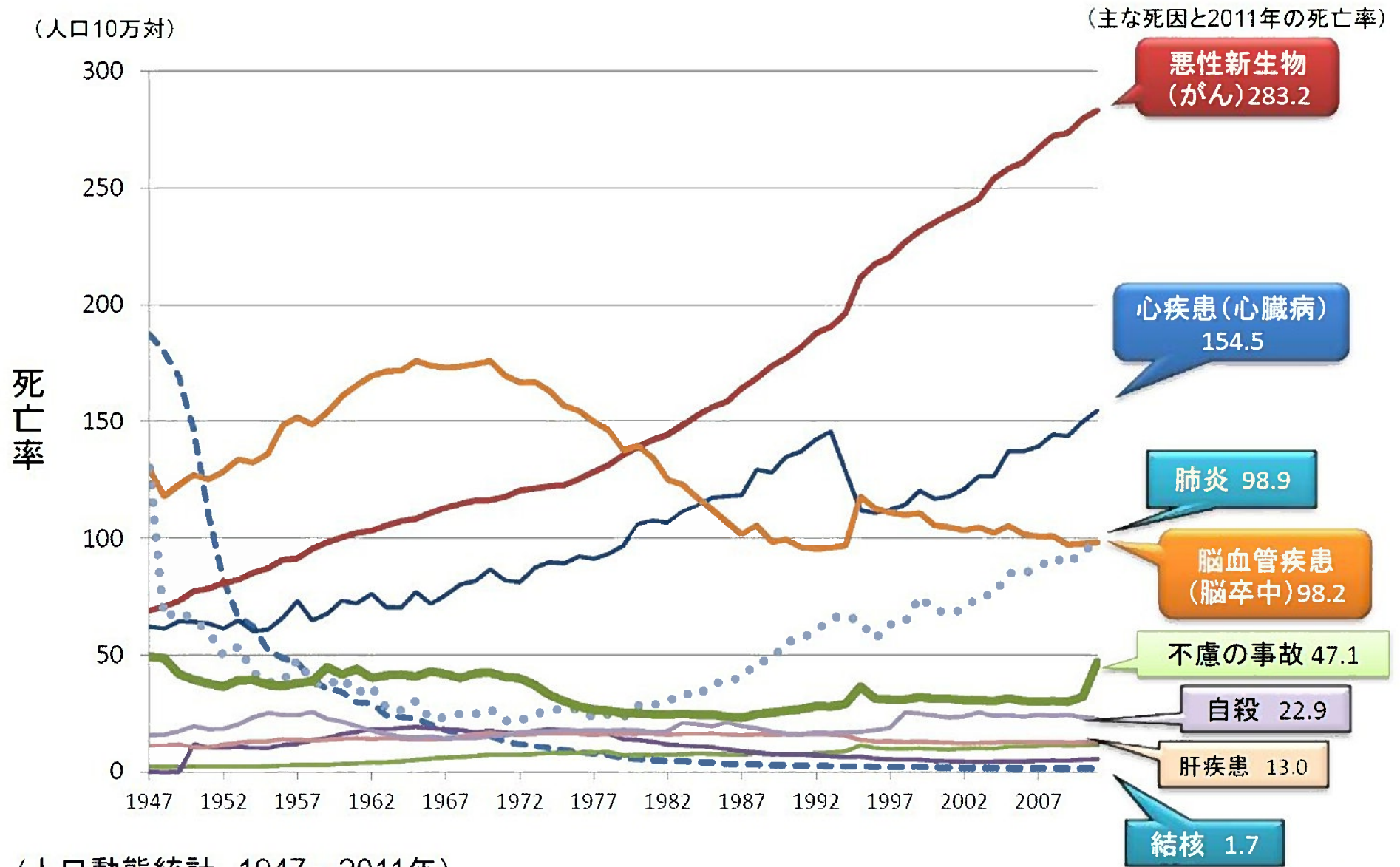
- I 安全上の課題・・・加齢が身体機能を低下させ、労働災害の発生リスクを増大させている
- II 衛生上の課題・・・労働者の高齢化が生活習慣病等のリスクを有する労働者の割合を増加させている
- III 双方の結果・・・労働生産性が低下するリスクが増大している。

加齢に伴い心身の機能が低下するのは自然なこと

筋力・柔軟性の変化



我が国における死亡率の推移(主な死因別)

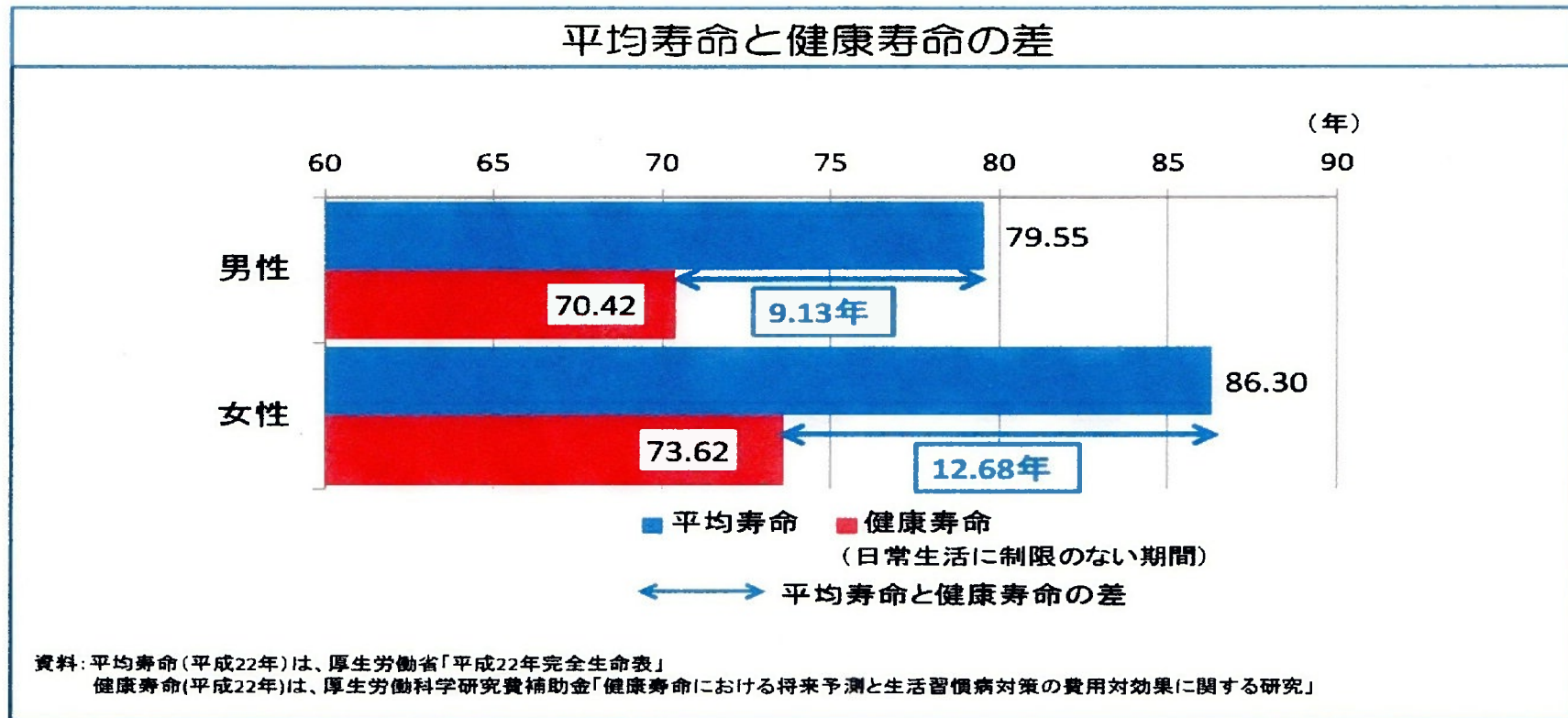


(人口動態統計 1947~2011年)

健康寿命を延ばしましょう

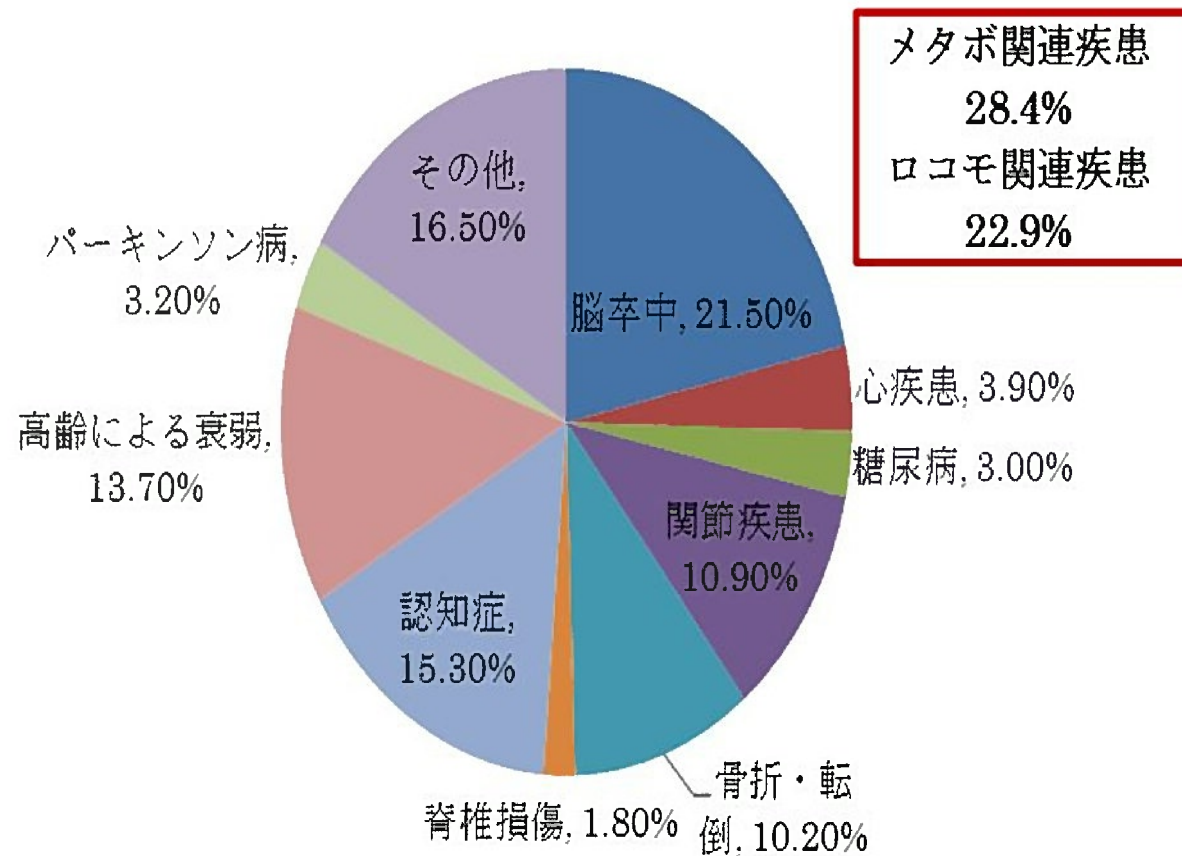
健康寿命・・・健康上の問題がない状態で日常生活を送れる期間の事

「長生きを支える、足腰づくり」



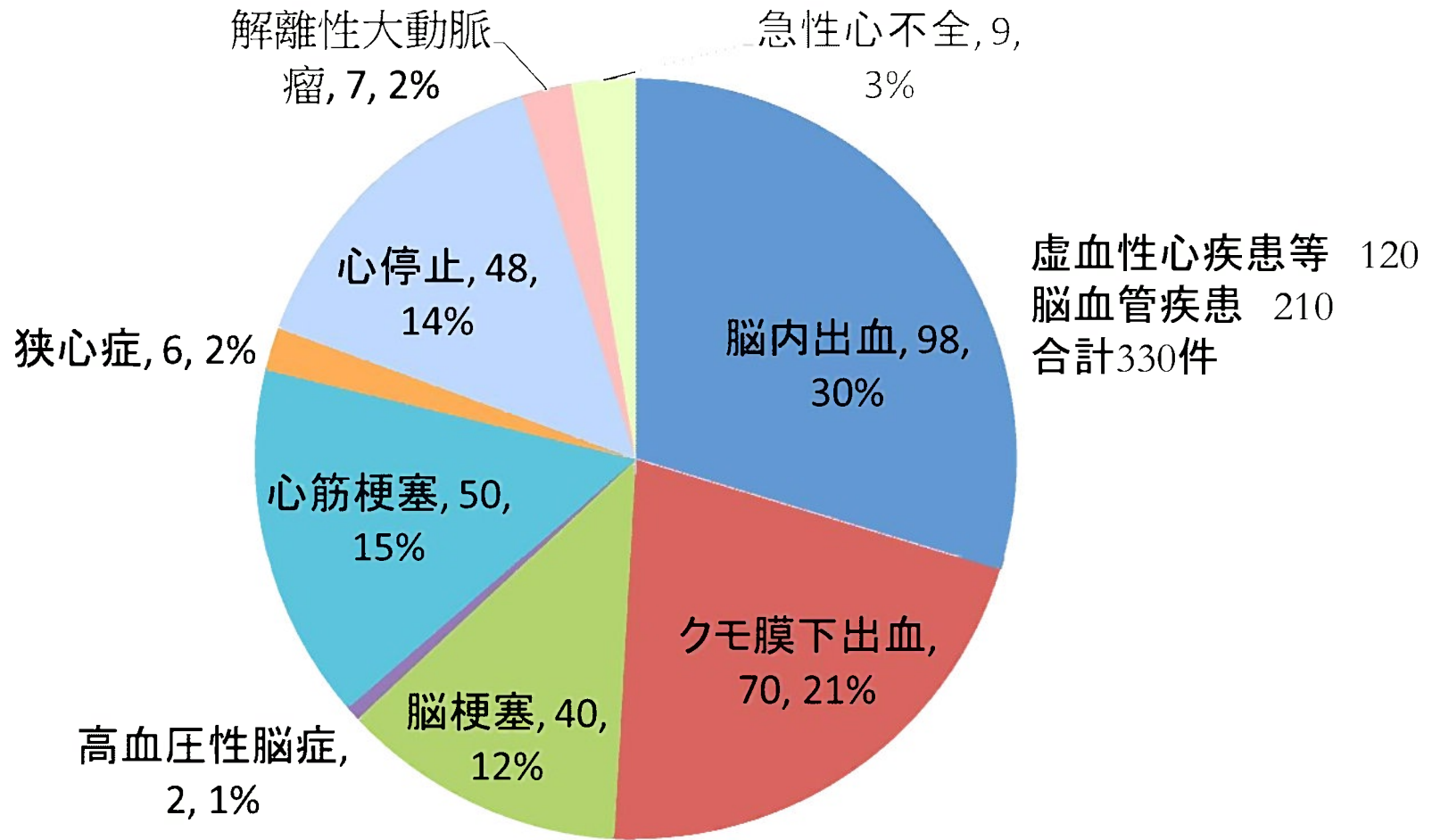
介護になった原因

要介護になった原因



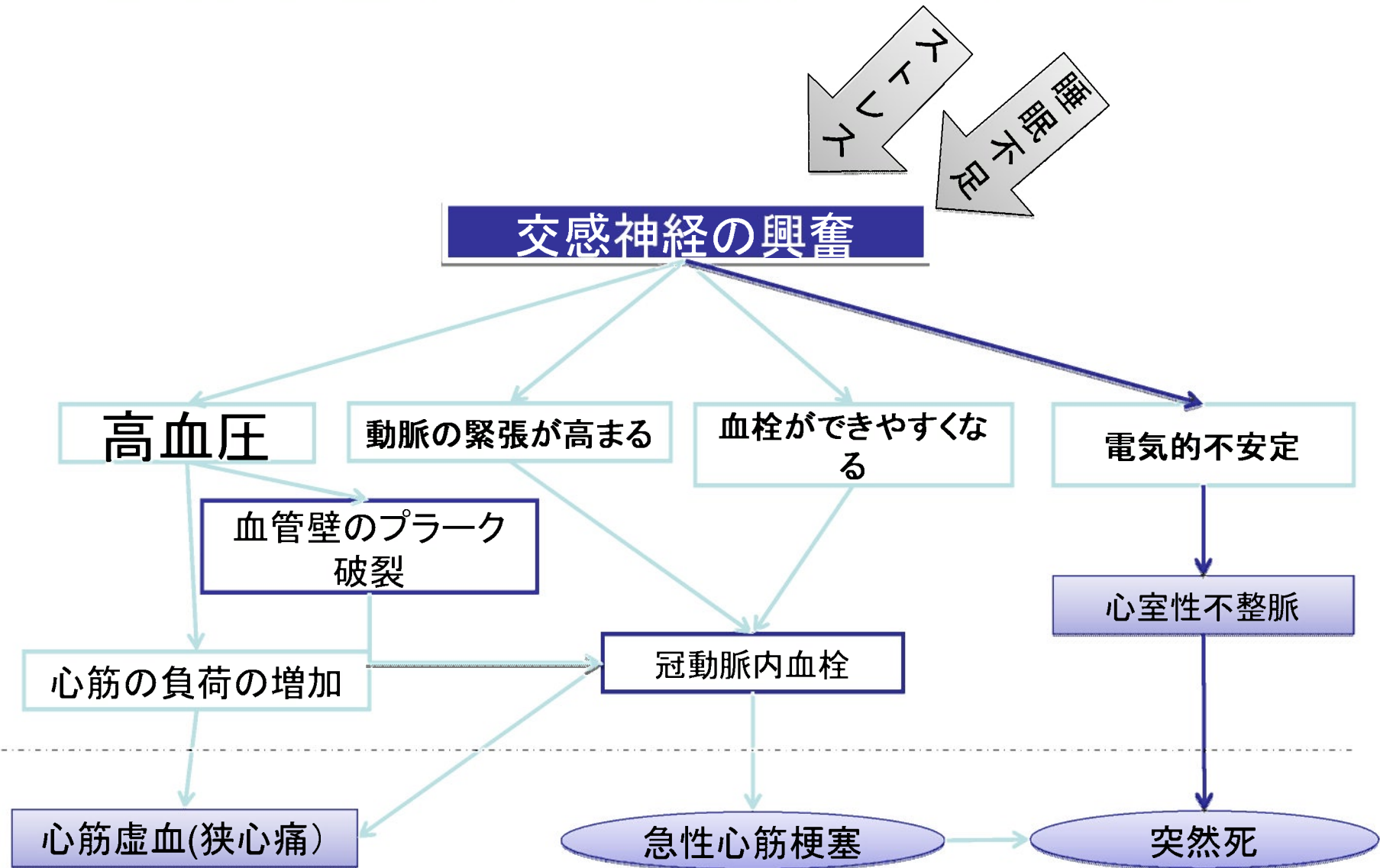
厚生労働省「国民生活基礎調査」2010より作成

過労による脳心疾患の特徴



2005年 業務上脳心事故内訳
宗像正徳.日本災医誌2008;56

過労は脳卒中や心臓病の原因になる



健康長寿を延ばす国の取り組み

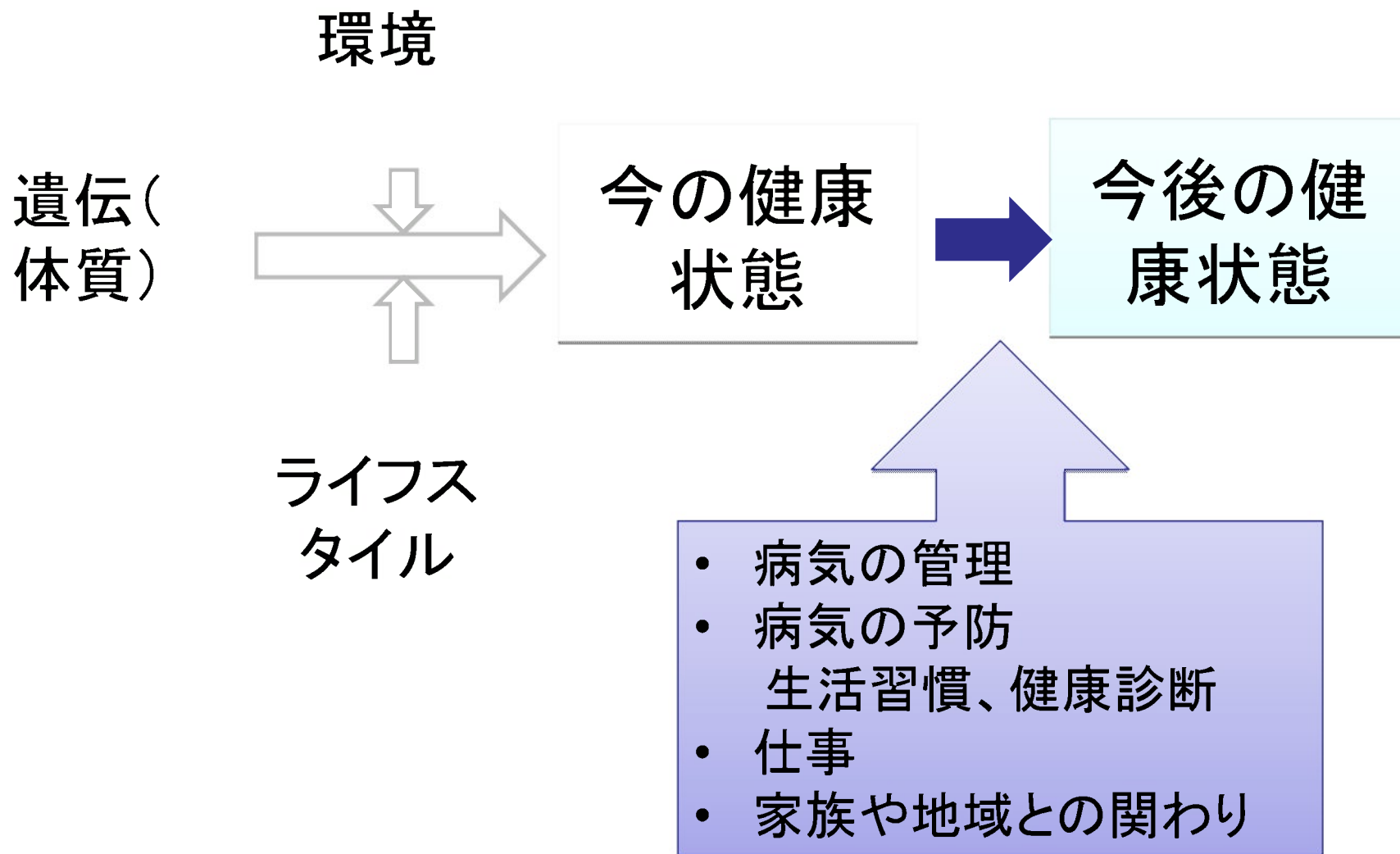
日本再興戦略等を踏まえ、2025年に向け、『国民の健康寿命が延伸する社会』の構築を目指して予防・健康管理等に係る具体的な取組を推進。

- 高齢者への介護予防等の推進
- 現役世代からの健康づくり対策の推進
- 医療資源の有効活用に向けた取組の推進

現役世代からの健康づくり対策の推進とは？

- 医療保険者において、レセプト・健診情報等を活用し、意識づけ、保健指導、受診勧奨等の保健事業を効果的に実施するため、データヘルス計画等を策定するとともに、PDCAサイクルに則った事業を実施する。
- これらの事業の実施によるエビデンスの集積状況を踏まえ全国的な保健事業として普及促進する。
- 特定健診・特定保健指導の実施率の向上を図るため、本年秋から健康づくり大キャンペーンを行うとともに、特定健診と各種がん検診の同時実施や特定健診を被扶養者向けに工夫するなど、被扶養者の受診率向上のための取組等を推進する。
- 事業者健診の実施の徹底を図るとともに、特定健診を行う医療保険者と事業者との連携を推進する。
- 特定健診・特定保健指導等を通じ、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少や糖尿病有病者の増加の抑制を図るとともに、糖尿病の重症化予防、非肥満の高血圧者対策の推進を図る。
- このほか、特定健診・特定保健指導の効果検証を進め、疾病予防との関係で効果的な保健指導の方策は随時全国に展開していく。

健康の決定要因



『健康で働く』ために

動脈硬化の病気と運動器の障害の予防が重要です



心筋梗塞
脳卒中

メタボ

- 肥満
- 高血圧
- 脂質異常症
- 糖尿病 など



歩行障害
運動障害

ロコモ

- ひざ関節痛
- 腰痛
- 筋力低下
- 骨粗しょう症 など

運動・食習慣は元気に働くことから老後の介護にも関与します。

